

研究名

当院で分離された大腸菌の薬剤耐性状況

1、研究の目的・意義

この研究の目的は、当院で検出された大腸菌においてどのような薬剤に効果があるのかを経年的に調査することです。過去の大腸菌の薬剤耐性状況を調査することで、耐性化の状況が分かり、今後大腸菌が分離された患者様に対して適切な薬剤の使用につながるのではないかと考えています。

2、研究対象となる方

2013年1月1日から2022年12月31日までに当院に入院または外来受診され、尿や血液などを使用した細菌検査を行い、大腸菌が検出された方。

3、研究の方法・利用する情報

◇ 研究に使用する試料

なし

◇ 研究に使用する情報

カルテ等の診療情報から分離された大腸菌の薬剤感受性検査結果、採取材料、検体採取日、年齢、性別、病棟名または受診科の情報を集めさせていただきます。

収集したデータは匿名化した状態で対象者個人が特定出来ないようにして研究を行います。

4、研究の期間

研究採択日から2024年3月31日

5、相談・連絡先

この研究について、詳しいことをご存知になりたい方、その他ご質問のある方は次下記の担当者にご連絡ください。

また、資料・情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので下記にお申し出ください。

6、研究責任者:

出雲市立総合医療センター臨床検査科 馬庭恭平

〒691-0003 島根県出雲市灘分町 613

電話 0853-63-5111 FAX 0853-63-4228